

# 高性能シミュレータ用日本語版患者シナリオの教育効果検証と 看護教育ネットワーク構築

織井優貴子<sup>1)</sup> \*、藤田あけみ<sup>2)</sup>、佐々木雅史<sup>2)</sup> 鈴木克明<sup>3)</sup>

- 1) 青森県立保健大学大学院健康科学研究科、2) 青森県立保健大学健康科学部  
3) 熊本大学大学院社会文化科学研究科

**Key Words** ①シミュレーション看護教育 ② シナリオ作成 ③ シミュレータ

## I. はじめに

高度化・複雑化する医療のなかで、質の高い安全な医療の実践家養成のための手段として「シミュレーション看護教育」が重視されている。質の高い看護教育として「シミュレーション看護教育」は海外では積極的に導入され、我が国でも看護基礎教育、卒後教育にとりいれられつつある。

わが国におけるシミュレーション看護教育の課題は、「患者シナリオ」の作成に時間を要すること、シミュレータの操作訓練を受けている教員やスタッフが少ないこと<sup>1)</sup>である。

「患者シナリオ」は、臨床に起こりうる実例を基にすることで作成しやすくなる<sup>2)</sup>が、わが国では、「患者シナリオ作り」は、どの教育・医療機関でも課題となっており、教育成果を客観的に比較評価するまでには至っていない。しかし、「シミュレーション看護教育」を推進し教育効果を客観的に評価するためには、「共通のツール」で、複数の教育機関および医療機関が連携し「教える技術や方法の向上 (Faculty Development)」<sup>3)</sup>をめざすことが必要である。

## II. 目的

本研究の目的は、欧米で広く使用されている英語版「シミュレーション看護教育患者用シナリオ」を参考に「日本語版患者シナリオ」を作成し、シミュレータを活用したシミュレーション看護教育ネットワーク(以下、ネットワーク)の構築を目指すことである。

## III. 研究の経過

1. 日本語版シミュレーションデザインテンプレートの作成の許諾
  - 1) 米国看護連盟 (NLN) より、日本語版シミュレーションデザインテンプレート作成の許可を得て、日本語版に翻訳し、シミュレーション教育に必要なシナリオ等を作成する。
  - 2) 作成したシナリオが教育目的に沿った教材であるか検証する。
2. 交流集会での研究紹介および意見交換
  - 1) 日本看護科学学会にて、本研究の経過説明と意見交換を行い、教育ネットワークの構築の基盤とする。

## IV. 成果および考察

1. NLN よりテンプレート等の日本語版作成の使用許可が得られ、日本語版シナリオテンプレートを作成した。それらを用いて作成したシナリオは、パイロットスタディを経て、わかりにくい部分を修正し、再度、パイロットスタディを行い、「シミュレーションデザインスケール」を用いて評価 (5

---

\*連絡先：〒030-8505 青森市浜館間瀬 58-1 E-mail: a\_bcde@auhw.ac.jp

段階)した結果、平均値 4.3 であり、教材化が可能であることが示唆された。

2. シミュレーション看護教育としての教育方法等を検討する「シミュレーション看護教育ネットワーク(仮称)」構築に向けて全国より 5 校の参加申し出があり、2013 年度より具体的に稼働する方向となった。

## VI. 文献

- 1) 森山美智子 他 3 名: シミュレーション学習による技術教育の強化. 看護教育, 47 (9), 804-809, 2006
- 2) 河合いずみ: “シナリオ作り” で学びを深める 急変対応のシミュレーション. Nursing Today, 25,(8), 2010
- 3) DS Aschenbrenner 他: ジョーンズホプキンス大学看護学部における効果的学習環境の創出. INR, 31(4), 30-36, 2008

## VII. 発表 (誌上発表、学会発表)

### 1. 誌上発表 (原著)

1) Orii Y: Developing post-operative assessment skills in Japanese undergraduate nursing students using high-fidelity simulator(Sim Man) – A pilot study. An International Journal of Halla/Newcastle PBL center. ( a tentative title), in Press

### 2. 一般発表など

#### 1) 学会発表 (国外)

1. Orii Y: A Study on Simulation Based Nursing Education Using an Instructional Design for Emergency Response during Outpatient Chemotherapy. 2013 International Meeting on Simulation in Healthcare (2013), USA

#### (国内)

1. 織井優貴子、佐々木雅史、藤田あけみ: がん化学療法看護認定看護師を対象とした急変対応シミュレーション看護教育プログラムの試み. 第 14 回日本救急看護学会学術集会, 2012, (東京)

2. 織井 優貴子、藤田あけみ、大崎瑞恵、佐々木雅史: インストラクションデザインを用いた外来化学療法中の急変対応シミュレーション看護教育の試み. 第 32 回日本看護科学学会, 2012 (東京)

#### 3. 講演等 (国外)

1. Orii Y: (招聘講演) Instruction to the ARCS-V Model of Motivational Design for Learning. The 6 th Halla/Newcastle PBL Center INTERNATIONAL SYMPOSIUM CHEJU HALLA UNIVERSITY, KOREA, 2012,10 (済州, 韓国)

#### (国内)

1. 織井優貴子、藤田あけみ、佐々木雅史、鈴木克明 (交流集会): インストラクショナルシステムデザインを用いたシミュレーション看護教育の実践と評価-看護基礎教育と卒後教育-. 第 32 回日本看護科学学会, 2012 (東京)

2. 織井優貴子(研修会講師): 高性能患者シミュレータを使用したフィジカルアセスメント(青森県女性薬剤師会主催). 2012, 9 (青森)

3. 織井優貴子(セミナー講師): I S D & A R C S セミナー by ジョン・ケラー教授: 日本医療教授システム学会主催, 2012, 8 (東京)